

心のとびら

弥富市立桜小学校
道徳通信 No.53
平成29年 5月19日

“個性の伸長”について考える ～4年生の道徳～

4年生になって1ヶ月余り。子どもたちは気持ちを新たに、様々なことに取り組もうという意欲に満ち溢れています。子どもたちに「友達の長所はどこ？」と尋ねると「走ることが得意なところ」とか「算数の計算が速いところ」と、すぐに答えてくれます。しかし、自分の長所については考えてみたことがないようです。そこで、誰にでも長所はあるが、見つけようと努力しなければ、自分の中にある長所に気付かないだけでなく、短所にも気付かないことを考えさせたいと思いました。そこで、『つくればいいでしょ』という資料を通して、「個性の伸長」について考えました。

《資料のあらすじ》 先生に「自分の長所と短所について考えましょう」と言われ、長距離の練習をやめなかった「わたし」の気持ちを考え、短所を克服することも個性の伸長につながることに気付かせます。また、何もせず自分の長所が見つからない「わたし」から、「つくればいいでしょ」と言った母の言葉を理解し、自分の良さに気付くことのできる「わたし」に変わったことから、個性の伸長と行為の関係について考えました。

《授業の様子》 「私はどうして長所が見つけれなかったのですか」の問いかけに、子どもたちから「いいところはたくさんあるけど気付いていない」「いいところがないと決めつけていて気付かない」などの意見が出されました。その後、長所をつくるとはどういうことかを考え、「自分が興味をもっていることを、ずっと続ければ長所になる」「努力して短所を長所にかえる」「いろいろなことにチャレンジして頑張れば長所が見つかる」など、すばらしい意見がたくさん出され、活発な話し合いができました。最後に人生の先輩の名言を聞き、自分の良いところを伸ばそうとする気持ちを高めることができました。

みんなの意見・感想

- ★ 自分の長所に気付くことが大切であることが、分かりました。
- ★ 友達の長所だけでなく、自分の良いところも見つけ、伸ばしていきたいと思います。
- ★ 努力して、短所を長所に変えていけるように頑張ろうと思いました。
- ★ いろいろなことにチャレンジして、自分の良いところを探したいと思います。
- ★ 目標を立てて頑張ることが大切だと思いました。

